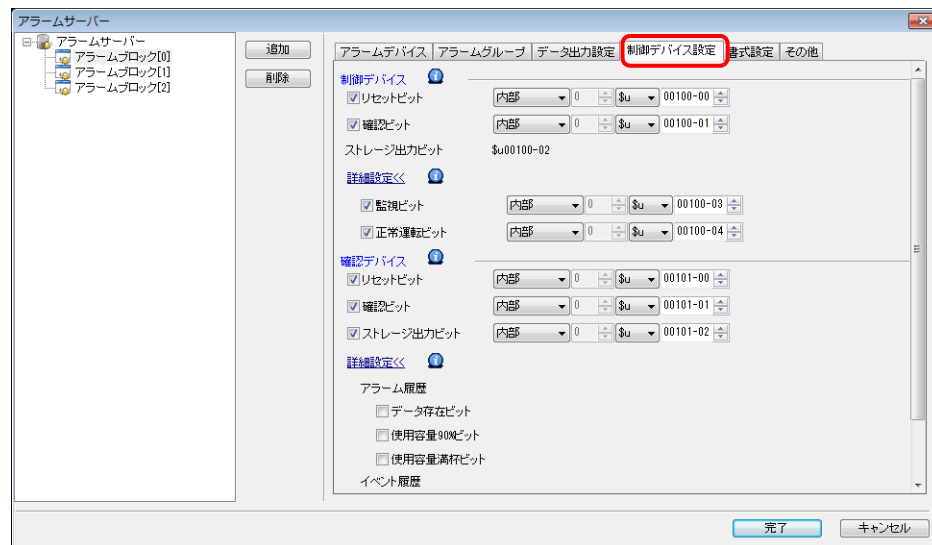


制御デバイス設定



項目	内容
制御デバイス	制御デバイスで、リセットやストレージ出力を実行します。
リセットビット	ビット OFF → ON : 履歴データをクリアします。ビットが ON の間、履歴の保存停止。
確認ビット	ビット OFF → ON : 未確認アラームを確認済にします。 1 台の PLC に複数台の V9 が接続されている場合、この「確認ビット」を使用すると全ての V9 に確認済みの状態を反映できます。
ストレージ出力ビット	ビット OFF → ON : 履歴データを CSV 出力します。 ビットデバイス設定は [データ出力設定] で行います。
監視ビット	履歴の保存開始～終了を制御します。 ビット OFF → ON : 監視開始。アラームビットの ON で履歴を保存します。 ビット ON → OFF : 監視終了。アラームビットが ON しても履歴を保存しません。 未使用の場合は、アラームビットの ON/OFF だけで履歴を保存します。
正常運転ビット	アラーム履歴を制御するビットです。 アラームビットが OFF の間、ON、アラームビットが ON になった時点で OFF します。 このビットが OFF の間に、一番最初に ON したエラービットが「1 次要因」のエラーとして認識され、その他のエラーと区別できます。
確認デバイス	制御デバイスの実行結果、その他の情報を出力します。
リセットビット	制御デバイスの [リセットビット] ON でリセットが完了したら ON します。
確認ビット	制御デバイスの [確認ビット] ON で履歴保存が完了したら ON します。
ストレージ出力ビット	制御デバイスの [ストレージ出力ビット] ON でストレージ出力が完了したら ON します。
アラーム履歴	アラーム履歴の保存データ容量に合わせてビットが ON します。 データ存在ビット : 履歴データが存在している場合に ON 使用容量 90%ビット : 履歴データが容量の 90% 分存在している場合に ON 使用容量満杯ビット : 容量が満杯になった場合に ON
イベント履歴	イベント履歴の保存データ容量に合わせてビットが ON します。 データ存在ビット : 履歴データが存在している場合に ON 使用容量 90%ビット : 履歴データが容量の 90% 分存在している場合に ON 使用容量満杯ビット : 容量が満杯になった場合に ON